

始



9 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10^{10m} 1 2 3 4 5

特115

835

諸井 雄泉氏作
水自錦心丘校閱



摩
歌
大
將
行

東京 赤羽書店發行

93115
935

特115
835

乃不勝
矣

酒井山泉行

x

秋の空すだれの葉に
まつらぬの血。大年
陽火あひてはるに想ひ。誰
が風寒か。陳頭に。
船の風流に。君の骨感に。
よし空も。たばけぬ。

山河草木轉荒涼

征馬不前人不諳

其折よし一唐歌
アラタニ
アラタニ
アラタニ
アラタニ

が、火が御^お禁^きが^ある。こ^のか^たか^くが^しる。於^いに^まる^べり
向^むき、口^く漆^うはめ^あかば^せ四^よ十^じ身^み。へ^きか^く六^ろ者^しの^く所^し。大^だ
久^ひ山^{さん}が^出す。山^{さん}が^出す。櫻^{さくら}始^{はじ}めの^く所^し。春^は
奥^{おく}深^{ふか}く、山^{さん}が^出す。山^{さん}が^出す。儲^そ
山^{さん}に^い今^{いま}一^{いつ}度^ど。山^{さん}に^い今^{いま}一^{いつ}度^ど。櫻^{さくら}内^{うち}
一^{いつ}度^ど。櫻^{さくら}内^{うち}。山^{さん}に^い今^{いま}一^{いつ}度^ど。櫻^{さくら}内^{うち}
山^{さん}に^い今^{いま}一^{いつ}度^ど。櫻^{さくら}内^{うち}。山^{さん}に^い今^{いま}一^{いつ}度^ど。櫻^{さくら}内^{うち}
山^{さん}に^い今^{いま}一^{いつ}度^ど。櫻^{さくら}内^{うち}。山^{さん}に^い今^{いま}一^{いつ}度^ど。櫻^{さくら}内^{うち}

始はく事、乃木の手の生氣、其體也に始はりと、其威に
 會す。將軍が、赤旗もて、仰天大聞名たるゝおどかく、
 爺が教はゆ久に、胸に納まつむかねば、心が安へ思ひて
 よ、歎候へそちや在、身が痛りて身後は、度々仰所く。
 及きと、甚あらば、骨に微テフ、將軍は、耐カサ
 がゆたる事、さは死んで仕候、其様操アキ拂
 座せよと、怪アヤへふるふむかひ、其限の想をふくらまし、
 名號情一げにほへる、ひやつたが痛きよ、即ちば。

最後の仰顎が、白の山はなが一、歎キ、其目が漸
 く、いはけぬがゆか、乃木將軍はアリ人、病
 の御半面に出で、襟へ田舎の餘の世、なま大方よ
 うに見え、アヤヘニ、謂ひだる、アヤのアヤに、
 廉一、胸にあらかじめ、御通しよ、惣にアヤす筆の跡、
 ベトモアラタク、アヤナリトス。

アヤ一月六日、御あつまー、大方よ

摩薩比歌巴歌刀

纂編會究研歌琵琶
閻校生先心錦田永
書生先堂秋田宮

■山科の別荘 ■別れの盃 ■遊
■松の間 ■河中島 ■鶴
■雪晴れ ■景 ■清
■横 ■留 ■乃木大將
■龍の口 ■接 ■待

定價各冊金八錢
送料各金二錢

以下續刊

發行所岡村書店

歌班班曲妙 歌巴比曲妙

暮歸會究研歌琵琶

高松春月氏氏

► 内容略目 ◀

錄 國式曲譜石版刷 持入
小辨本城石常白臺金
敦內能童陸虎鋏海剛
盛社侍寺山毛光隊頭歌入石
蓬武七國吹那櫻夜錦小廣
令柴藏卿雪頑海中江
自山野落船轍市狩衝旗晉江
在送吉河櫻吉川月月國紀春
野内井野中下山脚高日
別與宿驛上落島津花柱德野
尋狂夢鶴母攝鉢王元俊月
陽一の太の照 寛
江女同戲長木君憲上照
池故熊糸寧持雪別山水增補
一郷等樂晴此の新曲
上柳桂野游煙詩山盃別間

便安帶得本真此
錢五十二金濱定
對四金魏郎

卷之三

編纂者琵琶歌研究會

東京市淺草區下永和營門前九番地

發行所岡村書店

卷之四

三

11

終

